



BACKNUMBER (二次元コードは右側をご利用ください。)

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anzen_report/

衝突事故防止のお願い！ ～しているつもりが事故のもと～

【事件事例】(見張り不十分が原因によるもの)

事故者は船長として漁船に乗船し、漁場向け航行していたところ、正面直前にろかいによって航行する渡し船を認めたことから、機関を後進にかけたが間に合わず渡し船に衝突した。事故者は漁場の状態のことを考えながら漫然と航行しており、正面に航行していた渡し船に気付くのが遅れた。

「漫然運転」を知っていますか？その操船、集中出来ていないかもしれません！

みなさんは車を運転中に前を向いていたにもかかわらず、赤信号や前の車にハッと気づいて冷や汗をかいた経験はありませんか？これは「漫然運転」といって、前方を見ているのに集中力と注意力が散漫になり、危険を見落としてしまう状態のことで、交通事故の原因で常に上位を占めています。漫然運転の原因としては、

- ①運転中に考え事をしてしまう
- ②睡眠不足や疲労による集中力の低下
- ③同乗者との会話、スマホで電話に夢中になる
- ④運転への慣れによる油断



などが挙げられます。車だけでなく船も漫然と操船していれば衝突などの事故を起こす可能性があります。今回紹介した事件事例の船長も、漁場のことを考えながら操船していたことで「**漫然運航**」となっていました！

漫然運航の防止策

漫然運航は誰にでも起こることがあります。自分だけは大丈夫と思うのではなく、原因に合った防止策を取り入れましょう。

- 仕事やプライベートでの悩みなど、操船以外に気になることがあればなるべく操船することを控えるか精神的に余裕を持った状態で操船に当たるように心がけましょう
- 睡眠不足や疲労を感じたときは、操船しないようにするか休憩を取るようにしましょう
- 同乗者との会話やスマホで電話に夢中になりすぎると意識が会話に集中して操船の妨げとなることがありますので、会話に気を取られすぎないように注意しましょう
- 操船に慣れるにつれて緊張が緩み油断しているときこそ、操船以外のことが頭に浮かびがちになるので、常に危機意識を持つようにしましょう

海の安全レポート作成者からご挨拶

早いもので本年も残すところ、あとわずかとなりました。皆様には1年間にわたり、海上安全レポートをお読みいただきありがとうございました。少しでも皆様のお役に立てるような内容になっていたでしょうか？来年もより海難減少に繋がられるような海上安全レポートを作成してまいりますので、よろしくお願いいたします。それでは皆様、来年も事故のないようご安全に！